



ノルウェーは、予想外の利下げを決定

ポイント1 予想外の利下げを決定

2015年9月24日、ノルウェー中央銀行は2会合連続で政策金利である預金金利を0.25%引き下げ、過去最低の0.75%としました。同中銀は前回6月の会合で「秋に政策金利をさらに引き下げる可能性がある」としていましたが、その後の原油安などを受けて通貨安が進んだことなどから、市場調査では半数以上が金利の据え置きを予想していました。

予想外の利下げを受け、9月24日のニューヨーク外国為替市場では、ノルウェー・クローネは、対円で前日比2.1%程度、対米ドルで同2.0%程度下落しました。

ポイント2 夏場の原油安により成長が下振れ

同中銀は、経済成長見通しが弱まり、インフレ率がさらに低下する見込みであるため、今回の利下げを決定したとしています。夏場の原油安により、原油関連の設備投資の下振れリスクがあるなどの影響から、以前の予想よりも低成長が長引くとの見通しを示しています。

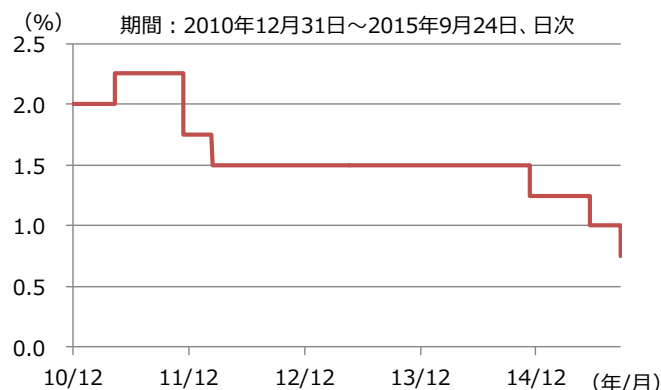
ポイント3 追加の利下げも示唆

同中銀は、「現時点の経済見通しでは、来年にかけて政策金利がさらに低下する可能性がある」とし、追加利下げの可能性も示唆しました。追加利下げの見通しは、ノルウェー・クローネの重石になると思われますが、輸出産業の収益改善などのプラスの側面が、原油安による悪影響を一部相殺することが期待されます。また、ノルウェーは、経常黒字が大きく財政状況も相対的に健全な水準にあります。当面は、原油価格及び金融政策の動向に引き続き注視する必要があります。

- | | |
|------------|--------------------|
| 重要
イベント | 10月9日 消費者物価指数 (9月) |
| | 11月5日 金融政策決定会合 |

重要イベントは現地時間で記載しています。

【図1】政策金利の推移



【図2】ノルウェー・クローネの推移



【図3】北海ブレント原油先物価格の推移

